

令和8年度 学校経営方針

<本校の教育方針>

各種学力調査や学校評価アンケート等の結果および生徒の実態から、本校の生徒の根っこ課題を「主体性と想像力」と考えた。このことをもとに、令和8年度の育成課題を『「なりたい自分」を思い描き、「工夫」と「挑戦」を続ける生徒の育成』とした。この育成課題の解決に向けて、セルフマネジメント能力の向上を図るとともに、学校改革の歩みを継続し、これまでの積み重ねをブラッシュアップしていく。

<校 訓> 自立創造 友愛誠実 克己不屈

<学校教育目標> 「自ら求めて学ぶ」生徒の育成

<めざす生徒像>

- 自ら考え、判断し、表現する生徒
- 自分に厳しく、人にやさしい生徒
- 困難に対しても果敢に挑戦する生徒

<めざす教職員像>

- 学校の基本課題を理解し、その解決のために努力する教職員
- 豊かな人間性をもち、心のふれあいを大切にする教職員
- 指導力の向上をめざして、研修に励む教職員
- 心身ともに健康で、生き生きと職務に励む教職員

<めざす学校像>

- 明るく、活気のある学校
- 安心して学べる、秩序のある学校
- 環境が整備された、美しく安全な学校
- 保護者や地域に信頼される地域とともにある学校

<教育目標を達成するための特色ある教育活動>

- ①みんなが過ごしやすい学校をつくる（G1-2、4）
 - ・「長中八策」を推進し、学びのベースを作り、セルフマネジメント力を向上させる
 - ・生徒会活動や学級活動の活性化を図る
- ②恒常的な確かな学力向上への取り組み（G1-1）
 - ・「生徒を学びの主体者にする」という視点から授業改善に取り組む
 - ・「あじさいスタンダード」「学びの習慣化メソッド」の利活用
 - ・単元末テストとパフォーマンス課題の計画的な実施
 - ・一人一台の学習者用端末を有効活用した学習の充実
 - ・単元内自由進度学習の実施
- ③校内研修の充実による指導力向上（G1-1）
 - ・全国学力学習状況調査をはじめとする学力検査の結果をもとに本校全体で検証を行い、取り組むべき課題を明確にし、学校全体で研修を行い、指導力向上を図る
 - ・指導と評価のあり方の研究を通じて、生徒の資質・能力の向上を図る授業を追究する
- ④学習のつまずきへの対応（G1-1）
 - ・デジタルドリルの有効活用を通して、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得に努める
- ⑤平和・人権教育の推進（G1-2）
 - ・他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる生徒の育成に努める
 - ・教育活動全体を通して人権や生命尊重の精神を培い、いじめの起こらない学校づくりを行う
 - ・道徳では、「考え、議論する道徳」を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む
- ⑥特別支援教育及び生徒指導の充実（G1-2）
 - ・個別の指導計画のもと、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員で生徒の支援にあたる
 - ・教育相談コーディネーターを中心に関係機関との連携を深め、家庭の困り感に寄り添った取組を行う
 - ・生徒指導アンケートや「アセス」の結果から生徒の困り感を教職員で共有し、支援や指導にあたる
- ⑦基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の充実（G1-3）
 - ・保護者の協力のもと、「朝食を食べる」「夜11時前の就寝」「各種メディアやSNS等と上手に付き合う」を推進し、健全な心と身体を育成する
- ⑧体力向上の推進（G1-2）
 - ・新体力テストの結果をもとに、保健体育や部活動等で体力の向上をめざす
- ⑨地域とのつながりを意識した経営の強化（G1-3、4）
 - ・育成会、学校評議員会などの関係団体との連携強化を図るとともに、積極的に外部人材を活用して「いつも心に長崎を」抱く生徒を育成する
 - ・地域の力を借りて通学路を点検し安全な環境の醸成に努める
- ⑩ふるさとキャリア教育の充実（G1-3）
 - ・ふるさと長崎の人や場所を生かした学びを充実させ、より良いふるさと長崎の創造に貢献しようとする態度や資質を育む
 - ・「なりたい自分」を意識させ、卒業後の進路を主体的に選択させる

学校教育目標実現及び育成課題の解決へ向けて～長崎中四つの約束～

① 長崎中は「挑戦する気概」を大切にし、これまでの挑戦を「ブラッシュアップ」していきます。

- 令和4年度 ・チーム担任制 ・期末テストから単元末テストへの転換 ・全員一律の宿題は課さない
・コの字型座席配置 ・日課整理(職朝廃止) ・採点ソフト導入 ・育成会ボランティア制
 - 令和5年度 ・第1回起業体験学習(2,3年) ・単元内自由進度学習の実践へ着手
 - 令和6年度 ・単元内自由進度学習の展開 ・3年生卒業研究 ・フォーサイト手帳の導入
 - 令和7年度 ・第2回起業体験学習(2,3年) ・1年地域学習の充実 ・職員室モニター運用
 - 令和8年度 ・評価の二期制 ・「長中八策」の推進
- ・これまでの挑戦の数々は「財産」です。これからも「これは」に出会ったら、恐れず挑戦していきましょう。
 - ・令和8年度は、次期学習指導要領の具体が数々見える一年になります。その動向には注目しつつ、これまでの挑戦を検証し、「ブラッシュアップ」していきましょう。

② 長崎中は「いつも心に長崎を」抱く生徒を育みます。

- ・「長崎」の「人」・「場所」に学ぶ。教育資源をフル活用した教育実践の展開
- 総合的な学習の時間「1年地域学習」「2・3年ココデショ」「2・3年起業体験学習」
- ・社会=長崎=日本=世界のために役に立ちたいという意欲、知識、技能をもつ生徒を育む
- 各教科で 道徳で 特別活動で 学校行事で「Think Globally Act Locally」に加え「Think Locally Act Globally」の視点を大切にした教育活動を展開していきましょう。

③ 長崎中は「学びがいのある授業」を実践します。

- ・50分の授業。果たして生徒はその中の何分間「学んで」いるでしょうか。
- ・一つの方法として「単元内自由進度学習」の実践は続けていきましょう。
- ・大切なのは生徒に学び続けたいと思わせること。「這い回っていないか」は常に意識を。
- ・まさに「学問のすすめ」。「実学」とは何かを教師として考え続けてください。

④ 長崎中は「働きやすく、働きがいにあふれた職場」です。

- ・チーム担任制の良さを生かす。分掌業務も主担当を中心にチームであたり、先生方の個性、持ち味を存分に発揮してください。
- ・全員が全員の「立場」を思いやる。自分に「私」あり。同僚に「私」あり。
- ・全員の「時間」を大切にしていきましょう。「いのち」は「時間」です。
- ・「ハラスメントするつもり」はないからこそ、「ハラスメントしないつもり・しない覚悟」を大切に。
- ・書く言葉、話す言葉、かける言葉、そして、つぶやきを大切に。

令和8年度育成課題

「なりたい自分」を思い描き、「工夫」と「挑戦」を続ける生徒の育成

令和8年度長崎中学校合言葉

いつも心に長崎を